

総合工学委員会原子力安全に関する分科会小委員会の設置について

分科会等名：福島第一原発事故調査に関する小委員会

1	所属委員会名	総合工学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	<p>東日本大震災時の津波が原因で福島第一原子力発電所の炉心熔融事故が発生した。再発防止、原子力安全の再構築の観点から、事故の真相を明らかにし今後の安全対策に活かすための事故調査が重要である。政府、国会、民間、東電、学協会、諸外国の団体等によりそれぞれの立場からの事故調査報告書が公表されているが、日本学術会議としては、学術的観点から発生した事故事象を、特定の立場に偏ることなく科学的に検討し、純技術的な観点からの見解を述べる必要がある。</p> <p>前期までの小委員会において検討し取り纏めてきた事故事象についての知見を踏まえて引き続き検討を行う。事故経過後7年に至ろうとしており各種新事実・知見が得られてきており、関係者からのヒアリング等も通じて、今後の安全対策に活かせる知見・意見として報告書をまとめる。</p>
4	審議事項	<p>1. 最大津波波高及び発生頻度評価の妥当性</p> <p>2. 事故発生防止対策の原子力規制のあり方に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	平成30年1月25日～平成32年9月30日
6	備考	※事実上23期からの継続